

# 竹の持つ質感を生かした 意匠性の高いものづくり

株式会社 竹六商店

多彩な加工技術を生かして顧客要望に応える



多種多様な竹材を竹の三悪(カビ、虫、割れ)から守り、建築内外装材として提供しています。

- ①竹の持つ魅力を最大限に引き出す加工。
  - ②長期的に美観を維持するための加工。
  - ③建築基準法の防火材料基準に対応した火災被害を抑える加工。
- これらの加工技術を生かした製品の製造を行っています。

②、③では、化学分野に長けた企業と共同研究を行い、竹専用の耐候性塗料開発や、難燃以上の性能を達成できる材料を開発し、これまで以上にどこにでも竹を使っていただけのように努力しています。



設計施工：株式会社三角屋  
竹の断面を生かした桁割加工



一般住宅：炭化面皮腰板  
蒸気で炭化処理を行い表皮と身が見えるよう加工



設計：傳賢慶子建築研究所 施工：南部建築工務  
写真：富田英次写真事務所  
3か所に竹が使われています。



設計・監理：井上久美設計室  
撮影：富田英次写真事務所  
3か所に竹が使われています。



ウレタン樹脂充填  
(割れ抑制)



真空加圧防虫  
(虫食い抑制)



防カビ剤塗布  
(カビ抑制)



加工形状の一例

適用範囲・用途／建築物(一般住宅・商業施設)の内外装材  
竹垣などの外部用資材

株式会社 竹六商店

〒521-1242 滋賀県東近江市福堂町3488

0748-45-0231 verde@takeroku.co.jp <https://www.takeroku.co.jp/>